

ThorensTD124 の導入(9)
ーフォノイコライザーの検討(4)ー

1. 始めに

前報(8)に引き続き、フォノイコライザーについて試聴していきます。

2. ThorensTD124 の試聴方法

前報(8)の 47 研のフォノイコライザー4718 信楽に引き続き、ZANDEN Model 120 で試聴します。この経路は、前報(2)でもざっと試聴していますが、盤を替えて試聴します。なお、ケーブル延長の RCA コネクターには、フェルトを貼りつけています。



カートリッジは、SPU Synergy とし、ZANDEN Model 120 に直接アンバランス入力します。

試聴音源は、前報(8)と同様、聴きなれた下記を使用しました。

LONDON SLC 1138

ファリャ 三角帽子

アンセルメ指揮スイスロマンド

ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020

J.S.Bach チェンバロ協奏曲

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンサート

harmonia mundi(Deutche) KUX-3248-H

ミトマニア

ベーレン・ゲスリン

キングレコード SKA-104

愛と自然の歌

倍賞千恵子

3. ThorensTD124 の試聴方結果

ThorensTD124 から ZANDEN Model 120 に直接アンバランス入力し、ZANDEN Model 120 の出力を Brooklyn DAC+経由で TruPhase に入力します。ZANDEN Model 120 の設定は、三角帽子は DECCA カーブの逆相、チェンバロ協奏曲は TELDEC カーブの逆相、ミトマニアは TELDEC カーブの正相、倍賞千恵子は TELDEC カーブの逆相にします。

三角帽子は、見通しがよく、定位がしっかりして、音の立ち上がりも良好です。

チェンバロ協奏曲は、定位と解像度がよく、アンサンブルの雰囲気も良好です。

ミトマニアは、ボーカルとバックの古楽器の見通しがよく、ボーカルは伸び伸びとし、古楽器の質感もよく出ています。

倍賞千恵子は、ボーカルの伸び伸びとした細かいニュアンスがでてきます。

ZANDEN Model 120 の場合は、イコライザーカーブなどを合わせられますので、もともとの盤に入っている情報を正確に引き出している感じがします。

4. まとめ

全体に定位がよく、見通しのよい音がします。また、声や楽器の質感、アンサンブルの雰囲気もよく出ています。ZANDEN Model 120 の場合は、イコライザーカーブや位相および第 4 時定数の設定が、盤に合わせて設定できるメリットがあります。

以上